



馬場 和子議員

Q 江戸時代の統治の仕組みを表す旧町名といわれを案内板に併記しては

A 旧外堀横の休憩スポット内に位置関係や旧町名を記した平面サインを設置



その他の質問

- ・防災にかかるフェーズフリーな考え方について
- ・美しいひこね創造事業の課題解決は
- ・彦根駅西口1階改札の必要性は
- ・猿被害への対策は

Q 立花船町線の護国神社前交差点南にある旧外堀横のポケットパークの整備内容は。

A 400平米の空き地に憩いの場を創出するため、広場全体の石張、旧城下町地区公共サイン、植栽、ベンチ5基を設置。また、休憩スポットのシンボルとなる、城下町の位置関係や旧町名を記した、城下町の様子を伝える、高さ40cmの外周がベンチとして使用可能な平面的な歴史サインを設置する。

Q 江戸時代の統治の仕組みを伝えるためにも、旧町名の併記といわれを記載してはどうか。

A 旧町名やそのいわれを記した説明板を城下町の要所に設置することは、城下町の歴史を知っていただくためにも意義がある。現在、旧城下町地区内に彦根市歴史的風致維持向上計画に基いた案内サイン15基を設置しているが、旧町名のいわれを案内サインに記載するまでには至っていない。今後、検討していく。



▲3月末完成予定のポケットパーク



小川 吉則議員

Q 災害時、旭森小学校の体育館は避難所として使用できるのか

A イエローゾーンにかかっており、避難所として使用できない



その他の質問

- ・認知症施策推進基本計画について
- ・パートナーシップ宣誓制度について

Q 地震、土砂災害、水害等の災害時に、指定避難所として旭森小学校の体育館は使用できるのか。

A 体育館は一部が土砂災害警戒区域に指定されており、「指定緊急避難場所」および「指定避難所」とともに原則使用できない。

Q 体育館が避難所として使用できない場合の対策はどうなるのか。

A 旭森学区においては地震が発生し、かつ避難が長期化した場合においては、指定避難所である旭森小学校では最大で880人程度の収容スペースが不足する可能性があり、その対策として、他の指定避難所に移ってもらうなどの調整を行う。

Q 市内避難所でのペットとの避難可能場所は、何か所あるのか。

A ペット用として定められた場所で飼育を行うという条件のもと、市内全ての避難場所および避難所においてペット同行避難が可能である。



▲旭森小学校体育館



北川 元気議員

Q 市民向け財政説明会の目的と期待する市民の反応は

A 財政状況の共有と市民の意見喚起に期待



その他の質問

- ・公共施設のあり方について
- ・新ごみ処理施設について
- ・がん検診について

Q 市民向け財政説明会を開催する目的と意義は何か。この説明会を通じて市が期待する市民の反応や意見は何か。

A 本市は過去の大型建設事業による巨額負債を抱え、自転車操業的な財政運営を強いられている。これまで市議会や広報ひこね等で財政状況を発信してきたが、市民との共通認識が十分に得られていない。この説明会は、市長自らが厳しい財政状況や中長期的見通しを説明し、市民と状況を共有する場である。これにより、市政への関心を高め、持続可能な行財政運営について市民が意見を考える契機となることを期待している。



▲彦根市の財政説明会



八橋 龍二議員

Q プロシードアリーナHIKONEの駐車場案内の対策や改善は

A Googleマップについては適切な案内がされるよう修正依頼した



その他の質問

- ・彦根市の滞納額の整理について
- ・強制徴収公債権(※)の徴収の一元化によるメリット、デメリットについて

Q プロシードアリーナHIKONEに車で来場される方への駐車場案内の対策や改善は。

A Googleマップについては適切な案内がされるように修正依頼した。カーナビについては各メーカーへの情報提供等を行っている一般社団法人日本デジタル道路地図協会に適切な案内ができないか相談し、改善に向け努力する。

Q プロシードアリーナHIKONEの2階観客席の安全対策は。

A 2階観客席の手すりは基準よりも高い80cmを確保しているが転落防止の注意喚起を促すポスターの掲示や放送を流すなどの対策をする。

Q バリアフリー対応の宿泊施設の確保は。

A 市内の施設だけでは賅い切れるものではなく、滋賀県内あるいは県外の広域に渡る調整が必要となる。



▲プロシードアリーナHIKONEのメインアリーナ

※強制徴収公債権とは、個別の法令の根拠規定により、市が滞納債権について地方税法の例による滞納処分(給与・預貯金・不動産等の差押えや担保権の実行等)を行える債権です。





伊藤 容子議員

Q 現ごみ処理施設のこれまで10年に要した修繕、長寿命化の費用は

A 修繕費は約23億2,600万円、長寿命化の費用は約34億8,100万円



その他の質問

- ・地域新電力について
- ・新ごみ処理施設の建設候補地について
- ・生ごみ減量化について
- ・学校教育の情報化推進について

Q 現ごみ処理施設の状況は。

A 現施設は、長寿命化改修工事を令和4～6年度に実施し、毎年定期整備工事も実施している。それ以外過去5年の主なものは、突発的に故障した誘引通風機、ガス冷却室の部品交換、激しく腐食が進んだ煙突の緊急修繕を実施した。今年度は1号炉について、長寿命化改修工事の範囲外での緊急修繕も実施した。今後は、新施設の供用開始時期を見据えて策定する長寿命化総合計画に基づき、現有施設を供用開始まで安定稼働させる考え。

Q これまでの10年に要した修繕、長寿命化の費用は。

A 平成26年度から令和5年度まで10年間に要した修繕費は約23億2,600万円、長寿命化改修工事の費用は、工事費、施工監理委託料、外部搬出費などを含め約34億8,100万円。



▲令和17年度下期までの稼働が必要とする方針決定が示された現ごみ処理施設（令和5年9月の工事の様子）



森野 克彦議員

Q 彦根市の中学生が「闇バイト」に勧誘されるような事案は生じていないか

A 市内の中学生が加担したり、巻き込まれたという報告は受けていない



その他の質問

- ・生徒指導担当教員について
- ・新学期ゆったりスタートについて
- ・保育園等に室内カメラを設置することについて

Q 彦根市の中学生が「闇バイト」に勧誘されるような事案は生じていないか。

A 市内の中学生が加担したり、巻き込まれたという報告は受けていない。

Q 彦根市の中学生が「闇バイト」に手を出さないように啓発活動は行っているか。

A 外部講師を招き、SNS利用における危険性について啓発するスマホ教室を市内中学校で開催したり、警察からの啓発チラシ「No!!闇バイト!!」を全児童生徒に配布し注意喚起と指導を行っている。また、警察庁プロジェクトチームによるイベントが開催された際には、参加した市内小中高200名以上に、特殊詐欺の実行役の逮捕者のうち7割が20代以下で、SNS上で高額報酬をうたう闇バイトで募集されていることを紹介し、参加した子どもたちや保護者に注意喚起が行われた。